

# 日本泌尿器科学会

## 第 197 回 熊本地方会プログラム

日時：平成 31 年 3 月 9 日(土)

時間：15 時 00 分～17 時 15 分

会場：ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 2 階「平安」

住所：熊本市中央区東阿弥陀寺町 2 番地

TEL：096-354-2111

---

### <補足>

- ◇口演時間は 1 題につき 7 分、討論時間は 3 分です。
- ◇形式は Windows Power Point に限定させていただきます。
- ◇データは USB メモリに保存し、受付にご提出下さい。
- ◇PC を持参される場合は、専用コード、出力端子用アダプタもご準備下さい。
- ◇会員証をご持参下さい。
- ◇(研修医を除く)非会員の先生は、参加費 3,000 円を頂きます。

◆地方会終了後、同会場にて『第 9 回 熊本泌尿器疾患研究会』を開催致します。

◆ セッション 1 (15 時 00 分～16 時 00 分)

座長: 和田 孝浩  
(公立玉名中央病院)

1. 高度前立腺肥大を伴う前立腺癌(摘出重量 165g)に対し、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を施行した 1 例

穴見 俊樹、石山 亮、占部 裕巳、三上 洋、福井 秀幸、渡邊 紳一郎、  
副島 一晃、町田 二郎、副島 秀久 (済生会熊本病院)  
榑田 裕士 (榑田泌尿器科外科医院)  
野尻 明弘 (熊本泌尿器科病院)

2. HAM に伴う自己導尿施行中に発症した膀胱癌の 1 例

井邊 有紀、村上 道洋、富永 成一郎、宮本 豊 (熊本労災病院)

3. MRI-TRUS 融合画像ガイド下前立腺生検の初期経験

村上 栄敏、西澤 秀和、鮫島 智洋、銘苺 晋吾、二口 芳樹、前田 喜寛、  
陣内 良映、菊川 浩明 (熊本医療センター)

4. 当院における前立腺生検結果についての考察

中熊 健介、前原 遼、濱田 真輔、前原 遼、原 一正、  
濱田 泰之 (熊本中央病院)  
宮前 公一 (まえはら泌尿器科クリニック)

5. 当科で経験したロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術(RAPN)の検討

渡邊 紳一郎、福井 秀幸、三上 洋、占部 裕巳、穴見 俊樹、石山 亮、  
副島 一晃、町田 二郎、副島 秀久 (済生会熊本病院)  
榑田 裕士 (榑田泌尿器科外科医院)

6. 淋菌耐性化の動向及び急性膀胱炎における薬剤感受性の検討

井 秀隆、松永 欣也、谷川 史城、狩野 武洋、浅山 縁、  
鍋倉 康文、野尻 明弘 (熊本泌尿器科病院)  
本多 次朗 (本多胃腸科内科医院)

《COFFEE BREAK (16 時 00 分～16 時 15 分)》

◆ セッション2 (16時15分～17時15分)

座長：宮本 豊  
(熊本労災病院)

7. 術中に致死性不整脈を発症した小児褐色細胞腫の1例  
近浦 慶太、山口 隆大、神波 大己 (熊本大学医学部附属病院)
8. 当院における膀胱用超音波画像診断装置の比較検討  
山中 達郎、鹿瀬島 裕、和田 孝浩 (公立玉名中央病院)
9. 膀胱原発リンパ上皮腫様癌の1例  
中村 英樹 (朝倉健生病院)  
石井 龍 (福岡大学筑紫病院)
10. 尿管瘤内結石に対して気膀胱手術を行った1例  
里地 葉、東武 昇平、三浦 章成、有働 和馬、  
野口 満 (佐賀大学医学部附属病院)
11. 原三信病院におけるPVP 1,400例の治療成績  
野村 博之、横溝 晃、宮崎 薫、内藤 誠二、山口 秋人 (原三信病院)
12. アビラテロン除去症候群と考えられた1例  
井上 智博、村上 知彦、門司 恵介、今田 憲二郎、柏木 英志、武内 在雄、  
塩田 真己、猪口 淳一、立神 勝則、江藤 正俊 (九州大学病院)

---

◀ 特別講演 (生殖医療・がん連携センターより) ▶ (17時20分～17時40分)

座長：国立病院機構 熊本医療センター 泌尿器科 部長 菊川 浩明 先生

演者：熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学分野 講師 本田 律生 先生

『熊本大学医学部附属病院 生殖医療・がん連携センターの

取り組み -Oncofertilityの実際- 』

≪ 2018 年 会計報告 ≫ (17 時 45 分～17 時 55 分)

杉山 豊 (熊本大学)

≪ 第 9 回熊本泌尿器疾患研究会 特別講演 ≫ (18 時 15 分～19 時 30 分)

座長：熊本大学大学院生命科学研究 泌尿器科学分野 教授 神波 大己 先生

演者：琉球大学大学院医学研究科 腎泌尿器外科学講座 准教授 宮里 実 先生

『 BPH/LUTS 治療戦略 』

≪ 情報交換会 ≫ (19 時 40 分～ )

2 階 「アンダンテ」

#### ◆地方会参加単位登録手順

##### 参加受付～参加単位登録までの流れ

- 1) 受付にて参加受付を行う。
- 2) 参加証を受け取り、記名欄に記名する。
- 3) 参加単位登録受付にて「会員カード」を呈示し、会員カードの QR コードをハンディターミナルで読み取ってもらう。  
※「会員カード」をお持ちでない場合は、参加証の原本をご自身の専門医(初回・更新)認定申請時期まで保管し、申請書類に貼付して下さい。会員カードを作製されていない先生方は、日本泌尿器科学会 WEB サイトの「よくあるご質問」ページ(<http://www.urol.or.jp/other/faq.html>)より、「Q. 初めて会員カードを作製するには…」をお読み頂き、作製頂きますようお願い申し上げます。

##### 【注意】

参加証は、後日 WEB 上で単位が確認できるまで(約3カ月程度)は大切に保管して下さい。その他、ご質問(単位登録に関する質問も含む)は、日本泌尿器科学会へお問い合わせ下さい。(TEL:03-3814-7921)